



車内の金城学院大学

27限目

「テキスタイル材料学」

「雨の日は服が伸びている!？」

[ハイグラルエキスパンション]

綿や麻、ウールなど吸湿性を持つ天然繊維は、繊維中の水分量によって長さが変化します。この性質は「ハイグラルエキスパンション」と呼ばれており、特に吸湿性が高いウールは、他の繊維と比べても長さが変化しやすい性質を持っています。このためウールが使われているジャケットなどは梅雨時には湿気を吸って繊維が伸び、縫い目の周りが不自然に波打ってしまうこともあるのです。ウールを扱う縫製工場では生地湿度管理に十分注意するなど、どんな環境でも美しいフォルムを保てる工夫と努力がなされています。繊維は環境に影響を受けることが多く、その特性を学ぶことは服のデザインや機能を考える上で非常に重要なことなのです。

人の暮らしを見つめ、次世代のものづくりを考える。それが生活環境学部 環境デザイン学科。

6/11(土)・7/17(日)
オープンキャンパス開催!

2012年4月スタート!(届出中)

国際情報学部

強く、優しく。



金城学院大学